



一隅を照らす運動総本部だより  
No. 64



一隅を照らす運動ホームページアドレス  
<https://ichigu.net>





一隅を照らす運動会長  
叡南覺範探題大僧正 ご遷化

令和五年七月二十六日、叡南覺範探題大僧正が世寿九十八歳にてご遷化された。叡南会長は、一隅を照らす運動顧問を永きに亘り努められ、令和四年二月二日に一隅を照らす運動会長にご就任された。なお、密葬は令和五年七月三十一日、本葬は同年十月十六日に滋賀院にて執り行われた。謹んでご報告申し上げます。

第二十一回

心のつどい in 比叡山

七月七日〜八日 比叡山延暦寺会館

第二十一回「心のつどい in 比叡山」(一隅を照らす運動総本部主催)を比叡山延暦寺で開催。一般公募で集まった男女十五名が参加した。

本年は五年ぶりに一泊二日の日程で開催した。

開講式では、竹内純照一隅を照らす運動総本部長より挨拶があり、続いて日程説明や注意事項等の説明の後、研修会がはじま



った。

最初は、根本中堂の改修現場見学が行われた。現在根本中堂は令和九年の完成を目指して改修が進められており、進捗状況などを延暦寺総務部主事儀村良定師より説明がな



された。参加者たちは普段近くで見ることができない改修現場を見ながら、興味深く説明を聞いていた。



続いて、延暦寺一山竜城院住職秦行巨師、一隅を照らす運動広報大使露の団姫師による法話がそれぞれ行われた。秦師は一山住職ならではの延暦寺にまつわる話を、露の団姫師は時折笑いを交えた話をされ、参加者たちは熱心に聞き入っていた。

その後は坐禅止観の説明が行われ研修会初日は終了した。二日目は早朝より根本中堂での朝勤行に随喜し、続いて坐禅止観を行った。初めて坐禅止観を経験する参加者もいたが、それ



ぞれ清らかな時間を過ごした。その後は延暦寺会館に移り、それぞれ般若心経写経や写仏を行い、全日程を終了した。

参加した研修生からは「充実した内容で、また来年も参加したい」「日常で

は味わえない体験ができた」「道心や信仰、自分というものについて考えさせられた」と感想を述べていた。

## 一隅を照らす運動推進大会

### 近畿教区

近畿教区本部（兼平明観教区本部長）では、令和五年六月三日に奈良県高市郡明日香村の橘寺において、近畿教区宗祖傳教師報恩法要並びに一隅を照らす運動推進大会を開催し、約四十名が参加した。

はじめに兼平教区本部長を導師に宗祖傳教師報恩会を行った。コロナ禍のため、



多くの方に随喜していただき、法要は三年半ぶりとなりました。



続いて延暦寺一山求法寺住職武覚超師を講師に迎え「傳教大師の生涯」と題した講演が行われた。武師は傳教師の方々へ、わかりやすく説明された。

### 兵庫教区

兵庫教区本部（荒樋勝善教区本部長）では、令和五年六月五日に太子町立文化会館丸尾建築あすかホールを会場に第五十四回天台宗兵庫教区檀信徒会並びに一隅を照らす運動推進兵庫大会を開催し、約三百名の参加者が集まった。

はじめに荒樋教区本部長を導師に法楽が



執行行われ、続いて檀信徒総会が行われた。

その後、一隅を照らす運動表彰並びに実践発表が行われ、五名の檀信徒が教区本部長賞を受賞し、三名が実践発表を行った。



続いて、群馬教区心月院住職高橋美清師による「誹謗中傷の世の中」と題した講演が行われ、ご自身の体験をもとにSNS等の使い方について年齢に関係なく、正しく使うルールとマナー

### 東京教区

東京教区本部（林観照教区本部長）では、令和五年六月十一日に上野の寛永寺輪王殿



及び開山堂にて一隅を照らす運動第五十回大会が開催され、約三百八十名が参加した。コロナ禍により四年ぶりとなる今大会では、新たな試みとして法要の他に仏教を身近に感じてもらうため、腕輪念珠作り、匂い香作り、写経・写仏体験、坐禅体験のワークショップを行った。その他に、寛永寺の協力により参加者限定で徳川歴代將軍の御霊廟特別公開が行われ参加者から好評を博した。

開山堂では三回の法要が行われ、ワークショップ参加者が待ち時間に随喜できるように工夫された。「東京教区法要」「声明公演」「傳教大師本懐讚」の三座が奉



り表彰状が授与された。

**南総教区**

南総教区本部（高橋隆叡教区本部長）では、令和五年六月二十一日にいすみ市大原文化会館を会場に第十九回南総教区一隅を照らす運動推進大会が四年ぶりに開催された。新型コロナウイルス感染症の影響により、参加者を約三百五十名に減らしての開催となった。



檀信徒連合会副会長である北田豊氏の開会の言葉に続き、福聚教会南総本部「茅花の会」「般若寺支部」による奉詠舞、南総教区仏教青年会による法楽が行われ

修され、合間には大正大学准教授の木内堯大師が、宗祖の教えをわかりやく解説された。最後に、一隅を照らす運動推進に功績があった五名と一団体へ林教区本部長よ

修され、合間には大正大学准教授の木内堯大師が、宗祖の教えをわかりやく解説された。最後に、一隅を照らす運動推進に功績があった五名と一団体へ林教区本部長よ



動について、具体例を挙げながら話された。最後に、檀信徒連合会の花崎進氏による謝辞をもって閉会となった。

**群馬教区**

群馬教区本部（三浦祐俊教区本部長）では、令和五年七月三日に群馬県伊勢崎市のメガネのイタガキ文化ホール伊勢崎において第十三回「一隅を照らす運動」群馬大会を開催し、八百五十名を超える方々が参加した。



開会式では檀信徒連盟会長神宮直仁氏による開会の

た。

その後、竹内純照一隅を照らす運動総本部長による「一隅を照らすそれぞれの一隅運動」と題した講演が行われ、檀信徒の方々がすぐに実践できる一隅活

続いて、群馬生まれの四人組落語家ユニット「上州事変」による落語会が行われ、参加者を大いに楽しませた。

閉会式では実践目標宣誓を参加者全員で唱和し、檀信徒教区本部会長の門倉政仁氏より今大会を通じて集められた地球救援募金が竹内純照一隅を照らす運動総本部長へ手渡され、閉会となった。



講演では書家の金澤翔子氏の祈りの時間に合わせて声明が唱えられ、続いて「共に生きる」の揮毫をいただいた。その後、金澤泰子氏による「共に生きる」と題した講演が行われた。



辞から始まり、三浦教区本部長の挨拶等が行われた。次に記念法要では三浦教区本部長を導師に「伝教大師和讃」を参加者とともに唱えし

続いて、竹内純照一隅を照らす運動総本部長による「癖にしよう！一隅を照らす」と題した講演が行われた。その中で参加者年度事業報告、決算報告がなされ、令和五年度事業計画、予算案についてそれぞれ承認された。



はじめに横山教区本部長を導師に法楽が行われ、その後来賓による祝辞が述べられた。次に檀信徒総会が開催され令和四



福島教区本部（横山大哲教区本部長）では、令和五年七月二十日に福島県いわき市スリゾートハワイアンズを会場に令和五年度天台宗福島教区檀信徒総会並びに一隅を照らす運動推進福島大会が行われ約百九十名の参加者が集まった。



また、会議の中で理事より一隅を照らす運動の根本理念や目的を常に確認しながら事業を進めることや、比叡山延暦寺

に対し生活の中で実践できる一隅活動について具体例をあげながら、それらを「癖にしよう」と語りかけた。参加者の中には、大きく頷いている人や、メモを取る人たちも見受けられた。講演終了を持って大会は閉会した。

一隅を照らす運動ニュース

◎「一隅を照らす運動」理事会を開催

令和五年六月二十八日、天台宗務庁（滋賀県大津市）において令和五年度第一回「一隅を照らす運動」理事会が開催された。本理事会において、令和四年度一隅を照らす運動の事業報告、各会計の決算等が審議・承認された。

の居士林再建についての支援などの要望があった。またコロナ禍により一隅大会の参加者を減らさざるを得ない状況となっており、参加費の減少による教区の負担が大きくなっていることが報告され、総本部より教区への一隅を照らす運動推進大会助成額について柔軟に対応するとの答えがあった。

◎日本ユニセフ協会へ浄財を寄託



令和五年  
八月四日、  
「比叡山宗  
教サミット  
三十六周年  
世界平和祈  
りの集い」  
(比叡山延  
暦寺)が開  
催され、日  
本ユニセフ  
協会へ支援  
金の寄託式

が行われた。  
この支援金は、一隅を照らす運動総本部にてお預かりしている救援協力金の一部で、子どもの福祉と教育支援のために二百万円が寄託された。

当日は、竹内純照一隅を照らす運動総本部長より早水研日本ユニセフ協会専務理事に目録が手渡された。

◎天台宗寺院婦人連合会が義援金を寄託



令和五年  
九月八日、  
一隅を照らす運動総本部「地球救援事務局」が救援募金を呼びかけた「ハワイ・マウイ島大規模火災」災害義援金に対して、天台宗寺院

婦人連合会を代表して小林好野会長から一隅を照らす運動総本部へ義援金三十万円が手渡された。

なお、「ハワイ・マウイ島大規模火災」災害義援金の募金は、令和五年十月三十一日をもって受付を終了し、その後の募金は救援募金へ回付している。

◎三千院門跡が浄財を寄託



令和五年  
九月十九日、  
小堀光實三千院門跡門主が天台宗務庁に来庁し、一隅を照らす運動総本部「地球救援事務局」へ浄財が寄託された。

この浄財は、三千院へ参拝に訪れた方々の真心こもる募金によるもので、各地で頻発する豪雨被害の復興支援として被災地域や関係機関へ寄託される。